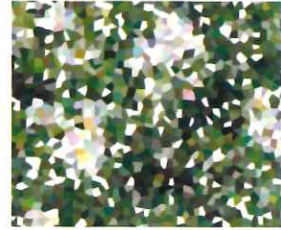


# 佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society



No.  
**8**

2018.April

事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留

TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539

URL : <http://www.facebook.com/sakurabarakai/>

## 佐倉 堀田邸「ミステリーローズ」の普及を目指して

～今後の観光資源として模索も～

佐倉ばら会 会長 前原克彦

「佐倉ばら会」は、お蔭さまで、設立満8年を迎えることが出来ました。設立以来、会員の皆様にはご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。当ばら会の活動も多岐に渡っていますが、皆さまが楽しんで参加していただけるばら会でありたいと、いつも念じています。

今年は試みとして、佐倉 堀田邸の「ミステリーローズ」を、佐倉商工会議所との連携で、会議所会員の希望者に80株販売することになりました。来年以降は、500本、1000本と数を増やし、市内をこのバラで埋め、観光資源とすることを模索しております。いつの日か、佐倉市内でこのバラがあちこちに咲き乱れ、皆さまに愛されることを夢見ています。

市内でのバラ花壇の整備も案が出ておりますので、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

### ■佐倉 堀田邸「ミステリーローズ」とは■

堀田家第11代当主・堀田正恒伯爵は、大日本農会会頭、帝国海軍政務次官等の要職を歴任し、大正から昭和にかけて活躍しました。海軍の仕事でヨーロッパを歴訪した際に、お土産で持ち帰った物の中に、バラがあったと言われてい

ます。  
佐倉市新町にある堀田家歴代当主が眠る堀田家の墓地には、堀田正俊、正睦、正倫の墓のほか、各種の樹木も植栽され、佐倉市名木・古木・樹林・草地等にも選定されていますが、その入口に、大きなモミジに、巨大なつるバラが覆いかぶさっています。

このバラは、ゴールデンウィークの頃に、ピンクの優雅な花を咲かせています。完全なクォーター咲き（花卉の中心が一点にならず4つぐらいに分かれているもの）で、香りは、さわやかなフルーツ香です。また、樹勢は強く、ほとんど病害虫には罹りません。現状では、残念ながら品種名は不明ということで、佐倉 堀田邸の『ミステリーローズ』と名付けています。

なお、このバラのルーツについては、現在、国内外のバラのエキスパートによってある程度までは解明が進んでいますが、まだ確定は出来ていません。また、佐倉草ぶえの丘バラ園に、多数のバラを寄贈（バラ園内の「サンタ・マリアの谷」に植栽）していただいた、イタリアのヘルガ・ブリシェ夫人も、過日、堀田家の墓地を訪れ、大変興味を示され、その苗を持って帰られていますので、数年後、イタリアで、このミステリーローズの花が咲いたら、そのルーツが解明される日が来るかもしれません。



佐倉 堀田邸「ミステリーローズ」

### ■「ミステリーローズ」とは■

世界バラ会連合ヘリテージローズ保存委員会委員長の御巫由紀さんによると、「ミステリーローズ」という言葉が生まれたのは、1979年。イギリスのバラの権威ピーター・ハークネス氏が、バミュダを訪れ、そこで収集・保存されている古いバラの一群を、「バミュダ・ミステリーローズ」と名付けたのが最初だということです。

その後、この言葉は、次第に意味が広がり、現在では、世界各地の「名前や由来が分からなくなってしまったけれど、その地域の気候に合って長く栽培されてきたバラ」を指す言葉として使われているそうです。同じように、「ファウンドローズ」という言葉が使われることもあり、名前が決められないバラは、枝変わりか実生の可能性が高いのですが、その中から、園芸価値の高いバラが発見されることもあるということです。【出典：「マイガーデン」（マルモ出版）85号（2018年早春号）】



「ミステリーローズ」

### ■雑誌「マイガーデン」で草ぶえの丘バラ園を特集で紹介■

ガーデニングの総合情報季刊誌「My GARDEN(マイガーデン)」の83号(2017年夏号)、84号(2017年秋号)、85号(2018年早春号)、86号(2018年春号)の4号にわたって、今号の本紙で紹介した佐倉 堀田邸の『ミステリーローズ』を含む、佐倉草ぶえの丘バラ園について、特集で紹介されていますので、興味のある方は、ぜひご覧ください。バックナンバーの取り扱いも行っています。問い合わせは、株式会社マルモ出版(☎03-3496-7046)までお願いいたします。なお、ホームページからの申し込みも出来ます。  
<http://www.marumo-p.co.jp/>



佐倉草ぶえの丘バラ園が紹介されている雑誌「マイガーデン」

## 佐倉とバラの縁(えにし)～旧堀田邸に描かれたバラ～

佐倉市鶴岡町にある「旧堀田邸」(さくら庭園)は、最後の佐倉藩主であった堀田正倫(ほつたまさと)が、明治23年(1890年)に旧領である佐倉に設けた邸宅・庭園です。邸宅部分の玄関棟・座敷棟・居間棟・書斎棟・湯殿および土蔵、門番所の7棟が、「旧堀田家住宅」として平成18年(2006年)7月5日に国の重要文化財(建造物)に指定されています。また、庭園を含む一帯は、「旧堀田正倫庭園」として、平成27年(2015年)3月10日に国の名勝に指定されています。この邸宅部分の一階の居間部の襖の取っ手に、美しいハナショウブとバラが描かれています。このバラは、コウシンバラというバラで、中国由来の名品ということです。この邸宅が建てられた明治の中期に、品種名が分かるように、花卉の色、形、蕾、新芽、小葉が、はっきりと描かれているレベルの高さは、相当なものと、佐倉ばら会会長の前原克彦氏も驚いています。そして、現在の佐倉市の花でもあるハナショウブと、当時としては、まだ珍しい花でもあったバラとが共に描かれたということは、大変画期的なことであり、佐倉とバラとの縁を感じて、興味深いことと、述べています。



襖の取っ手に描かれたハナショウブとバラ



旧堀田邸

この邸宅部分の一階の居間部の襖の取っ手に、美しいハナショウブとバラが描かれています。このバラは、コウシンバラというバラで、中国由来の名品ということです。この邸宅が建てられた明治の中期に、品種名が分かるように、花卉の色、形、蕾、新芽、小葉が、はっきりと描かれているレベルの高さは、相当なものと、佐倉ばら会会長の前原克彦氏も驚いています。そして、現在の佐倉市の花でもあるハナショウブと、当時としては、まだ珍しい花でもあったバラとが共に描かれたということは、大変画期的なことであり、佐倉とバラとの縁を感じて、興味深いことと、述べています。

### 現代バラのルーツ シリーズ8

## Rosa centifolia

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツについての連載8回目です。

### ロサ・ケンティフォリア (Rosa centifolia)

出所が明らかではありませんが、16世紀～18世紀にオランダで作られたと言われています。

ケンティは、「100」、フォリアは「花」、100枚の花弁を持つバラという意味であり、現代バラに花弁の多さ、巻きの厚さをもたらした系統です。マリー・アントワネットがこのバラを持っている絵はあまりに有名です。樹勢はあまり強くなく、花が、まばらに咲きますが、それがまた魅力となっています。南フランスで香料を採るために盛んに栽培されたので、プロバンスローズと呼ばれています。



ロサ・ケンティフォリア

## ● 佐倉草ぶえの丘バラ園のご案内 ●

「佐倉草ぶえの丘バラ園」(佐倉市飯野 820)は、後世に残さなければならぬヘリテージローズ(原種とオールドローズ)の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ園で、平成18年(2006年)4月29日に開園しました。

敷地面積約11,500平方メートル、植栽品種は約1,050種、植栽本数は約2,500株、園内は、ミスターローズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを馳せながら、ヘリテージローズの香りと優しさに触れていただけるバラ園です。また、バラと共に、多くの草花も植栽されており、宿根草を中心に、1年草や球根を組み合わせて、バラとの景観を考慮しながら、白、ピンク、ブルー等淡い色の草花を配しています。園内をゆっくりと散策しながら、季節とともに移り変わるバラと草花との織りなす風景を楽しむことができます。

「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、世界的にも高く評価されており、平成26年(2014年)には、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノ市にある教育研究機関ハンチントン・ライブラリー、アートコレクションズ&ボタニックガーデンズにあるグレートロザリアンズオブザワールドプログラム(The Great Rosarians of the World Program)から殿堂入りバラ園の表彰を受け、平成27年(2015年)には、世界バラ会連合から、優秀庭園賞を受賞しています。このダブル受賞は、アジアで唯一、「佐倉草ぶえの丘バラ園」だけです。また、「佐倉草ぶえの丘バラ園資料室」には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約9,400点が所蔵されています。資料室を利用する場合は、佐倉草ぶえの丘事務室までお申し込みください。



佐倉草ぶえの丘バラ園

## 佐倉ばら会企画事業から

### 佐倉ばら会 会員の庭園・ガーデンの見学

佐倉ばら会の会員の庭園・ガーデンの見学として、平成29年4月～11月、それぞれ期間限定で、開放していただきました。ご協力をいただいた庭園は、次の通りです。ご夫妻で丹精込めて育てられた数多くのバラが見事に咲き競う、佐倉市六崎の湯浅宗倫、サダ子氏の庭園(4月20日～5月末日)、地区の風景に溶け込んだ和洋折衷のバラのコラボレーションが美しい、佐倉市石川の小出義雄、啓子氏の庭園(5月15日～5月末日)、佐倉市大蛇町の渡辺雄二氏のバラ園(5月10日～25日)は、イングリッシュガーデンを取り入れています。そして、バラのほか、斜面に多くの種類の花々を鑑賞できる、八千代市勝田台北の貝殻亭リゾートのガーデン(4月15日～11月末日)、多くの種類のハーブとバラを同時に楽しめる、佐倉市木野子の日本サーナのハーブ園(5月8日～11月末日)の5か所を、佐倉ばら会としてご紹介し、会員の皆さんのほか、知り合いの皆さんのご都合のつく日に、適宜見学していただくということで実施いたしました。

平成30年度も、皆さまのご協力をいただき、引き続き実施する予定です。開放するガーデンや、詳しい日程等につきましては、別途ご案内をさせていただきます。見学をしていただきたく思います。

目に沿ってのお話となりました。◎バラの野生・古代種3種「ガリカロース」「ダマスクローズ」「アルパローズ」◎古代3種の系譜◎16世紀ごろ「ケンティフォリアローズ」出現◎18世紀から19世紀初頭にかけて中国から4種の四季咲き性のバラが導入◎1867年にハイブリッドの初めてのバラ「ラフランス」が誕生(今までの系統に入らない枝ぶりのしっかりとしたバラ)◎19世紀初めバラの改良が始まる・四季咲きのバラが歓迎されていく(オールドローズからモダンローズまで)  
野村先生からは、北半球におよそ150種あったとされるバラの野生種があるとお話から始まり、古代種3種「ガリカロース」「ダマスクローズ」「アルパローズ」の中で、バラの改良の一番の原点となったのは「ガリカロース」だけなのだとか。例えば、「ガリカロース」と「ロサフェニキア」が自然交配してできた、「サマーダマスク」。それにヨーロッパどこにでも咲いていた「ロサカニナ」がさらに自然交配すると「アルパローズ」となるのであり、品種の交配のお話からは、見た目についても、サマーダマスク、オールドローズの違いについては、ほとんど見分けられないくらい見た目が同じといった古代種なのだそうです。ヨーロッパでは、ジョセフィーヌがルデューテに描かされた169枚の写実的なバラの絵がありますが、その3分の1はワイルドローズで、他にも新しい交配種の生まれ始めた系統の最初のものまでしか描かれていません。ジョセフィーヌは、当時世界中からバラを約180種集めており大きな影響を与えています。  
続いて、佐倉草ぶえの丘バラ園にあるバラの紹介がありました。1)ポーランド系(ポーランド伯爵夫人が見つけたバラ) 2)ブルボン系(華やかさのあるブルボン島に生えていたバラ) 3)ノアゼット系(庭の景色を作るのに面白いバラ) 4)ブルーソー系(ブルーソーさんが意図的に交配したバラ) 5)チャイナ系(四季咲きの中国からのバラの系統) 6)ティー系(ティーローズの原点、形と香りが特徴のバラ) 7)カリカ系 8)ダマスク系 9)アルパ系 10)ケンフォリア系 11)モス系 12)ハイブリッドパーベチュアル  
また、野村先生は、これから系統の違うバラの交配をしていくと、系統でくれない中間種が出てくるであろうとの見立てをお話されました。最後の質疑応答では、バラの植え替え時期についての質問があり、植え替えで絶対ダメなのは、7～8月とのこと。冬に剪定や植え替えをするのはいいとのこと。新しく植える場合は、その土を大きく取って腐葉土と赤玉を入れて植えること。海外からのバラは、ノイバラなどの木につき木していかないとダメになってしまうし、もちろん8月のつぎ木は絶対にダメなことなど、多くの質問が飛び交いました。参加者の皆さんは、今日のサロントークから、佐倉草ぶえの丘バラ園は、生きた博物館であることを実感された様子でした。

### サロントーク

平成29年7月29日(土)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開かれました。講師は、鈴木省三氏に師事されNPOバラ文化研究所副理事長として草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、「オールドローズ花図鑑」(小学館)等、多くのバラに関する著書も執筆されている佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏をお迎えしました。今回は、「バラの野生種から現代バラへの道のり」と題し、一重の小さな野生種に端を発して、自然に交配され、人々が選んで来たことによってバラの系統が生まれた歴史や、近世になって、人工的な交配が行われたなかで、現代バラに至る過程を探る、興味深いお話がありました。



サロントーク

### 参加された宮越貴子さんのレポートです

今回のサロントークは、「バラの野生種から現代バラへの道のり」と題して、以下の項

## 日帰りバスツアー

平成29年10月27日(金)

平成29年度の日帰りバスツアーは、10月27日(金)に、秋のローズガーデンを巡るツアーということで、千葉県内のバラの名所を訪ねる旅を実施しました。まず、午前を訪れた場所は、君津市にある「ドリブレ・ローズガーデン」(The Dreaming Place ROSE GARDEN)で、東京にお住まいのご夫婦が、一念発起され君津に土地を求めて移り住み、イギリス風のガーデンを作ったのが始まりです。広さ約16,500㎡の敷地に、メインガーデン約3,900㎡、シークレットガーデン約992㎡、キッチンガーデン約496㎡、北の森約2,645㎡とあり、イギリスから取り寄せたイングリッシュローズとオールドローズが、約350品種、2,000本植えられています。昼食は、木更津伝統のあさり料理を堪能し、午後は、袖ヶ浦市にある「ローズヒップ&ブランツ」を見学しました。同所は、バラの苗の専門店、レストラン



ドリブレ・ローズガーデン

とローズガーデンショップがあり、バラに関するあらゆる用品の購入が出来るお店です。



ローズヒップ&ブランツ(左右)

### 参加された岩崎肇さんのレポートです

例年天候に悩まされる佐倉ばら会の日帰りツアーですが、昨年は天候に恵まれ、会員の皆様と日ごろの喧嘩から離れ、親交を深めることができました。今回の訪問地は千葉県内ということで、最初は、君津市にあるバラ園「ドリブレ」、最盛期を終えようとする秋バラを楽しむことができました。敷地内にある特徴的なシークレットガーデンを楽しんだりもしました。ドリブレを後に、木更津のアサリを使った老舗レストランでランチをいただき、近隣の道の駅でお土産を購入し、最終訪問地「ローズヒップ&ブランツ」に向かいました。苗の販売スペースとカフェ、スタッフがメンテナンスするガーデンが広がるエリア、地元の方々と混み合う場所なのだろうとすぐ感じました。会員の皆さんは、お土産に大苗を買ったり、また、コーヒーを飲みながらそれぞれ親交を深めたりと、有意義な時間を過ごされたようでした。



ドリブレ・ローズガーデン入口

## つるバラの誘引講習会/木バラの剪定講習会

平成30年1月20日(土)/平成30年2月17日(土)



NPOバラ文化研究所とのコラボレーションにより、平成30年1月20日(土)、平成30年2月17日(土)に行われました。例年、佐倉草ぶえの丘バラ園で行っているこの講習会ですが、今回は、佐倉草ぶえの丘が全館改修工事で休園中でしたので、会場を、八千代市の貝殻亭リゾートガーデンに移して行われました。つるバラの誘引や、木バラの選定は、春に咲く花の位置や、見た目を美しくするために必要で、この時期に誘引や剪定を行うことで、木が力を蓄え、春には一斉につばみをつけて時期を同じくして花を咲かせます。参加した皆さんには、剪定バサミを使い、春に咲くバラの位置や風景を想像しながら、枝をポールやスクリーンに結びつけたり、また、実際にバラの枝を剪定したりして、それぞれ約1日かけた実習を通して、誘引や剪定の技術を学んでいただきました。



木バラ剪定講習会

### 参加された湯浅宗倫さんのレポートです

1月20日(土)のつるバラの誘引では、サクラバラという品種中心の作業でしたが、佐倉ばら会の前原克彦講師から、何故バラが花を咲かせるのかから始まり、理科の授業さながらに、進進しました。植物の本持っている性質(枝を曲げることによるストレスで子孫を残す必要を感じさせ、花を咲かせるようになる)を活かした作業が大切だという基本のお話の後、剪定前の状態を観察し、不要な枝がどれなのかを見極めながら、作業が進みました。最初は、参加の皆さんも、自信なさげにこの枝、あの枝と指差しながらの作業が続きましたが、徐々にコツを習得し、花の咲く姿を想像しながらの誘引作業の結果に、満足な表情を浮かべていました。次に、2月17日(土)には木バラを対象に、まず前原克彦講師から前回同様、4K(観察、研究、工夫、記録)が必要との説明と、様々な品種(系統)による剪定の仕方が異なることが話され、アイスバーグを見本に剪定後、グループ別に作業し、結果の評価を受けましたが、基本を知った上で、いかに数多くのバラに鉄を入れるかが大切だと思いました。剪定作業前には、4Kを念頭に入れて行うことが必要だということを実感しました。なお、今回の講習会は、貝殻亭でのランチの楽しみもありました。貝殻亭のご厚意でコーヒーやケーキ等のサービスをしていただきました。改めて、感謝いたします。

## ナイトを囲んで バラとボージョーレを楽しむ集い

佐倉ばら会の企画事業ではありませんが、会員の有志の企画により、平成29年11月2日(木)に、「ナイトを囲んでバラとボージョーレを楽しむ集い」が開かれました。ナイトとは、佐倉ばら会会長の前原克彦氏のこと。同氏は、2015年(平成27年)5月27日から6月4日まで、フランスのリヨンで開催された、世界バラ会連合第17回世界大会で、フランス・ボージョーレの騎士団協議会から、バラ界の重鎮で、バラ文化普及の功労者としての功績を高く評価され、コンパニオン・ドゥ・ボージョーレの騎士号を授与されています。

当日は、午前中、秋バラの咲く佐倉草ぶえの丘バラ園を前原氏の解説を聞きながら見学の後、午後は会場を貝殻亭に移し、美味しい食事とボージョーレワインを楽しみながら、参加された皆さん同士の親交を深めました。なお、この催しは、平成30年度は、一般の参加者も含めての懇親会として開催する予定です。



## 佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成24年度から佐倉市との協働事業により、JR佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえるJR佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成29年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年5回(4月・7月・9月・12月・2月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も同時期に実施しました。



志津コミュニティセンターのガーデン JR佐倉駅前ガーデン

## バラの普及事業

佐倉ばら会では、バラの普及事業として、バラ花壇の整備について、自ら維持管理をしていただける団体等に対して、花壇造りの助成を行っていく計画です。詳しくは、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。

また、現在、佐倉ばら会では、市内の小・中学校の花壇のバラ剪定作業等を実施していますので、会員の皆さんのお近くの学校の剪定作業に、ぜひ参加され、会員同士の連携を深めることと併せて、バラの普及事業にも積極的に協力いただきたいと思います。なお、現在、佐倉ばら会として、バラの剪定作業等を実施している学校は、以下のとおりです。会員の皆さんのご参加を、よろしくお願いたします。

【佐倉地区】佐倉小・内郷小・佐倉東小・白銀小・佐倉東中  
【白井、志津、千代田地区】白井小・千代田小・染井野小・下志津小・西志津小・小竹小・青菅小・白井南中



剪定後の佐倉東小のバラ園 剪定後の佐倉小のバラ園

## INFORMATION① 佐倉ばら会の事業にご参加ください!

佐倉ばら会では、平成30年(2018年)度も、多彩な事業を計画しています。現在計画中の主な事業は、下表のとおりです。詳しくは、正式決定後に、会員の皆様には、個別にご案内を差し上げますので、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

### 平成30年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【共同事業等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>●NPOバラ文化研究所主催事業への協力</li> <li>●佐倉 堀田邸「ミステリーローズ」の普及活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐倉ばら会会員の庭園の観賞会(オープンガーデン)の実施 オープンガーデンについては、小出邸、湯浅邸、貝殻亭、日本サーナハーブ園を予定。詳細については、会員へ案内状を送付。</li> <li>●草ぶえの丘バラ園鑑賞会 ■日時 5月19日(土) 午前10時～正午 ■場所 佐倉草ぶえの丘(前原会長による園内の案内 会費は入園料のみ)</li> <li>●日帰りバスツアー 5月25日(金)予定。・静岡県のクレマチスの丘ほかを予定。</li> <li>●野村和子氏によるサロントーク(紅茶、クッキー付き) ■日時 7月28日(土) 午後2時～4時 ■場所 佐倉草ぶえの丘 資料室(講義内容は未定)</li> <li>●つるバラ誘引講習会・木バラ剪定講習会 平成31年1月中の土曜日の1日に、つるバラの誘引を、2月中の土曜日の1日に、木バラの剪定を予定(NPOバラ文化研究所主催の講習会に参加)。</li> <li>●ナイトを囲んでバラとボージョーレを楽しむ集い 10月中旬くらいを予定。会員以外の参加も可</li> <li>●バラの普及活動のための事業。 市内の花壇づくりの助成と維持管理。染井野小学校ガーデンの改修、白井南中学校の花壇の地元会員等による管理。さらに、今後の実施可能な場所及び協力団体等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業)。 植栽及び手入れ(4月・7月・11月・2月)。7月下旬～9月上旬 手入れ(草刈り、水やりを、佐倉ばら会会員、佐倉市(産業振興課)、NPOバラ文化研究所の協力を得て、重点的に実施)</li> <li>●志津コミュニティセンター花壇の維持管理。 佐倉ばら会会員、NPO 植栽バラ文化研究所の協力で、植栽及び手入れ(4月・7月・11月・2月)を実施。 日常の水やり等は志津コミュニティセンターで対応。</li> </ul>



JR佐倉駅北口前景観整備事業

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデア、ご意見等がございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

## INFORMATION② 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力を、お願いたします。

佐倉ばら会(Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成22年(2010年)3月に設立されました。現在、会員を募集中です。正会員の年会費は3,000円です。詳細については、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。



■佐倉ばら会事務局■ 〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局  
電話 :080-5966-1187 FAX :043-487-1539